



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫

「迎春」本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

議12
会月
報定
告例

山梨市景観条例新条例が可決

- ・統合による新設校「笛川小」の開校にむけ準備が進む
- ・秋田市行政視察・「高齢者にやさしい都市」づくりを目指す

古屋まさお市政報告会



山梨市議会議員 古屋まさお

補正予算（主なもの）

①障害児童支援の追加2704万円余②私立幼稚園運営事業費の追加1593万円余③市立産婦人科施設建設費（土地購入等）8億2702万円④加納岩共撰所再編事業・市単独補助金2000万円⑤牧丘三富地域小学校の統合事業の追加1525万円

「全国初の公立産科医」（上神内川・山梨高校西）

平成29年7月開院に向け造成工事、本体工事が始まる

【市立産科医院のコンセプト】

「市民が安心して妊娠・出産・産後を過ごせる環境をつくる」

・総事業費11億1490万円余、平成29年7月開院予定

◇財源は合併債約9億5000万円余、

一般財源約1億2000万円余。

◇本体工事、土地購入、造成工事、移転費等は、約10億8560万円余。

古屋まさお市議」がこれまで 政策提起してきた条例、諸課題と補正予算

■山梨市景観条例が制定される

昨年9月定例議会において質問した「景観条例」については、市の山並みや一面の果樹園の中に発電施設が無秩序点在することは良好な景観を阻害するとの考え方から、発電施設の色合いへ配慮や、地区の特性を踏まえた行為制限、「景観重点

平成27年12月定例議会は12月1日から12月2日まで開かれた。

今議会では山梨市の美しい景観を後世に伝えていくための「景観条例」及び番号法における個人番号の利用範囲、及び特定個人情報の提供について規定する新条例および、一部条例の改正11件、一般会計予算では総額3億914万7000円を追加し総額199億6888万1000円の補正予算関係10件を議決した。

また、「中期財政見通し」（H28年～H32年）が示され、H32年度予測の実質公債費比率は13%（早期健全化基準25%）前後と高くなり、将来負担比率も170%（早期健全化基準350%）と年々高くなり早期健全化基準はクリ

アされているものの厳しい財政状況が想定される。これらへの対応策が今後一層、強く求められる。

一方、12月5日（土）後援会「友雅会」主催による定例「市政報告会・意見交換会」を開催しました。

※ 記載内容は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現ではない部分等についてはご容赦願います。

区域」の指定もできる条例が制定された。

■3月議会提起した「除雪機」購入補助が実現！

①1台あたり20万円上限で補助、複数機購入の場合は30万円の上限とする、※中古品も対象、②対象は区・自治会、③平成28年1月から申請受付

■住宅リフォーム支援事業・【予算の追加補正】

（220万円が追加され総額720万円となる）

この事業は市民および建築工業組合等の要望を踏まえ、平成25年度からの3ケ年の事業期間で住宅リフォーム等の支援事業・補助額は上限10万円です。市民から好評を得、これまで総実施件数157件、補助額1310万円、工事費総額3億円を超え、事業効果を引き出している。今年度はすでに申請57件あることから、220万円の追加補正予算を議決した。なお、28年度以降も3年間程度延長を検討したい。

（建設経済常任委員会答弁）

牧丘・三富地域統合校 「笛川小学校校章」の決定



↑ 笛川小校章

平成28年4月、牧丘・三富地域の統合により新設校となる「笛川小学校の校章」が決まりました。校章は市民や市内に通学、通勤している方から募集し、122点の応募があり、厳正なる審査の結果、市内、牧丘町窪平に

在住の「若月正樹」様の作品が笛川小学校の校章として、選ばれ、10月8日の統合準備会において承認されました。校章は中心に笛川の「笛」の文字が大きく書かれ周辺には富士山や地域特産品の「ブドウ」があしらわれ地域性を付加しています。統合前の牧丘第一小学校、牧丘第二小学校、牧丘第三小学校、三富小学校をローマ字に表記した際に共通の頭文字が「M」であることから、「M」を4枚の花びらに見立てて、手を取り合うように円周上に配置し、共に力を合わせて、新たな目標に向かって歩んでいく姿を表現しています。

この校章が統合校のシンボルとして、児童と地域の皆様に末永く愛される校章となるよう願っております。

秋田市を行政視察・報告 (平成27年11月12日)

＝ エイジフレンドリーシティ構想について・秋田市 ＝

エイジフレンドリーとは「高齢者にやさしい都市」と言う意味です。

WHO（世界保健機関）エイジフレンドリーシティグローバルネットワークに、秋田市は日本の自治体として初めて参加し、高齢になっても地域社会で活動しながら年齢を重ねられるまちを目指しています。

秋田市は、平成36年に推定高齢化率33.1%、3人に一人65歳以上の高齢者となることを想定し、これまで高齢者施策

は高齢者を行政の受け手として考えていた取り組みが主であったが、「支えられる人」でなく「支え手」としていきいきと暮らせる「高齢者にやさしい都市」を目指し、2009年にエイジフレンドリー都市の取り組みをスタートさせた。H26年からはエイジフレンドリー行動計画推進委員会を設置し、高齢者の多様な能力の発揮、バリアフリー化の促進、高齢者の交通手段の確保等を重点的に進めている。具体的には、専門家による講演会やフォーラムの開催、市民協働によるフレンドリーシティの実現を推進するワークショップの開催、市民活動団体への支援など様々な取り組みを行い、着実な推進と進捗管理を行っていました。



(古屋まさおの所感)

秋田市は全国的な高齢化社会に対応した自治体の行政運営のあり方を着実に変えていこうという先進自治体であり、「高齢者人口の中で多くを占める事に成る団塊の世代に高齢者を支える側に廻ってもらおう考え方」に感銘しました。特に行政が行うだけでなく、①それを支える市民参加の取り組み、②民間事業者が入ってくれる「協働」の取り組み、③ボランティア団体等への支援など、一つ一つの取り組みは今後の高齢化社会への対策として力を入れていくべき課題として大変参考になりました。具体的例として、除雪ボランティア、認知症サポーター等へのポイント（ほっぺちゃんカード）付与（5000円になると振込まれる）。僅かだが張り合いとなり、支えられるより支える側に廻る方が楽しみとなります。こうした取り組みが随処でなされ、高齢者に居場所と出番が生まれています。本市の政策に活かしていくよう政策提案したいと考えます。

★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★



▼温かい冬・温暖化。枯露柿づくりをはじめ、基幹産業である果樹栽培への影響が心配です▼安保法成立後、閉会のまま新年を迎えました国会、山積した国民生活の課題、「平和・経済・子育て支援・社会保障等」しっかり議論して国民の負託に応えて頂きたい、▼市政においては今後10年間（H29年～H39年）の「まちづくり総合計画」を決める年となる。山梨市の将来像を市民に示し、一つ一つの課題を着実に解決し、市政発展に繋げていくことが重要であると考えます▼残された任期1年4ヶ月、引き続き全力であらゆる市政課題に取り組んでまいります。

<http://www.e-masao.net/>